第二回調査研究事業検討会議兼第二回研究協議会が開催される

－高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業－

平成３０年１月２６日

文部科学省の研究指定を受けている「高校生の基礎学力の定着に向けた学習改善のための調査研究事業」に関する第２回調査研究事業検討会議を実施しました。名古屋大学大学院教育発達科学研究科の久野弘幸准教授や岐阜県教育委員会学校支援課課長をはじめ検討委員の方々に御列席いただき、ご指導をいただきました。

（１）　学校支援課長

（１）　学校支援課長挨拶

研究事業の方向性について

⑵①研究実践報告海津明誠高等学校

（２）　研究事業経過報告

①　研究実践校海津明誠高等学校

②　研究協力校華陽フロンティア高等学校（定）（通）

武義高等学校

可児工業高等学校

（３）　意見交流

（３）意見交流会（基礎学力の定着に向けて）で出された意見（抜粋）

・生徒が主体的に取り組む工夫をしている。
・振り返りシートを使って自己評価をさせている。
・きめの細かい個別指導をしている。
・授業で生徒が活動できるようにする事が大切。
・少人数指導が必要。
・キャリア教育で目標を持たせる必要がある。

（４）名古屋大学　久野　準教授

（４）指導・講評

・山梨県総合教育センター研究開発部
　主幹・指導主事　廣瀬　志保
・名古屋大学大学院教育発達科学研究科
　准教授　久野　弘幸

基礎学力と思考判断力は相互作用によって高まっていくものである。これからの研究事業については生徒の活動の様子や振り返りシートなど思考過程を記録として残しておくことが大切であると助言をいただきました。